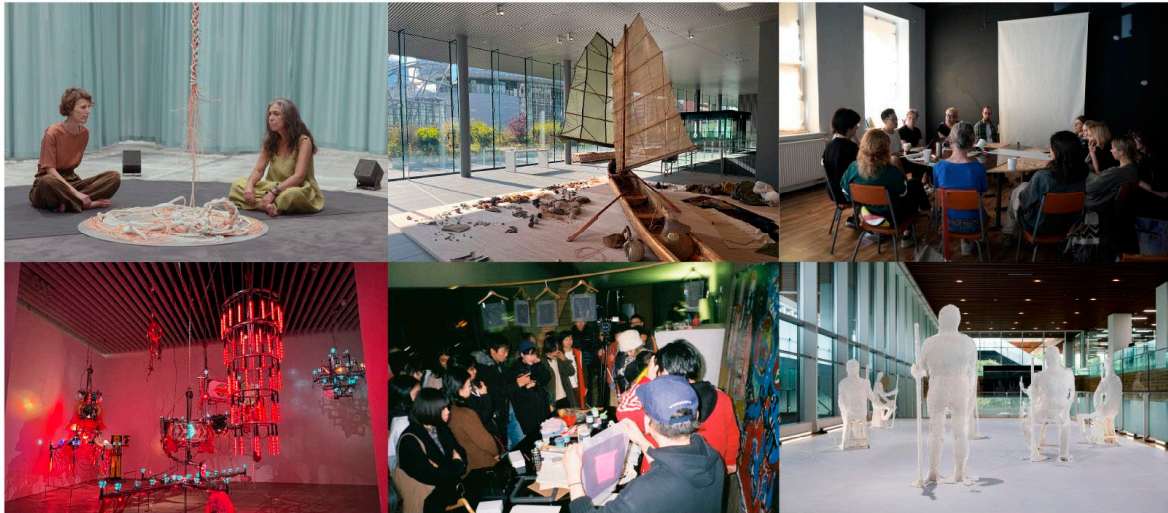




6組のアーティストが参加するプレスツアー開催！

CONNEXIONS コネクションズー接続するアーティストたち

プレス内覧会 [2026年2月6日(金)]のご案内



マリアンナ・クリストフィデス
マリアンナ・クリストフィデス《Restorilyng Waters/Rivers, Banks》展示風景／2024年
Marianna Christofides, Restorilyng Waters/Rivers, Banks, installation view, 2024. Photo Natalia Tsoukala | courtesy NEON
© Marianna Christofides | VG Bild-Kunst, Bonn 2024

SIDE CORE サイドコア
SIDE CORE/EVERYDAY HOLIDAY SQUAD (rode work ver. tokyo) 2018/2022 展示風景／森美術館
2022-2023
SIDE CORE/EVERYDAY HOLIDAY SQUAD, rode work ver. tokyo 2018/ 2022. Installation view at
Mori Art Museum, 2022-2023 Photo: Kioku Keizo

遠藤 薫 エンドウ カオリ
遠藤薫《重力と虹雲》(重力と虹雲—南波照間島について—)
展示風景／2023年／大阪中之島美術館
Kaori Endo, Gravity and rainbow/About the "Pai-Patromu" phantom island, 2023. Installation
view at Nakanoshima Museum of Art, Osaka, Japan. Photo by the Artist

刷音 シュアイン
刷音《刷音》ワークショップ風景／2018年12月14日／四方当代美術館(東京)
SURRE INN, Printing Sound, workshop view from Printing Sound, December 14, 2018. Sifang Art
Museum, Nanjin

mamoru マモル
mamoru《声を挙げ、絶やさない》2021-Szczecin(ポーランド)でのグループワークの様子／
2024年5月15日
photo: Tien Zong Yuan

高嶺 格 タカミネ タダス
高嶺格《風と太陽の美術館》2025 千葉市役所
提供：千葉県立芸術振興委員会／撮影：ただ（ゆかい）

鳥取県立美術館（鳥取県倉吉市、館長 尾崎信一郎）は、2026年2月7日(土)から3月22日(日)まで、冬の企画展 **CONNEXIONS コネクションズー接続するアーティストたち** を開催します。

展覧会開催に先駆け 2026年2月6日(金)には、プレス内覧会を開催し、プレスの皆様に一足先に企画展をご案内いたします。今回の内覧会では、アーティストが作品解説を行うプレスツアーやセレモニーなど、国内外で活躍する6組のアーティストと共に展覧会の開幕を祝すイベントを実施します。

Artists 内覧会に参加する6組のアーティスト

■Marianna Christofides マリアンナ・クリストフィデス [アーティスト／リサーチャー、キプロス出身]

■遠藤 薫 エンドウ・カオリ [アーティスト、大阪出身]

■mamoru マモル [サウンド・アーティスト、大阪出身]

■SIDE CORE サイドコア [アーティスト・チーム、東京拠点]

■刷音 シュアイン [アーティスト・チーム、日本・中国]

■高嶺 格 タカミネ・タダス [アーティスト、鹿児島出身]

※ひろまでは「ムセオ・アエロ・ソラルル（風と太陽の美術館）」を展示中



◎2026 年 2 月 6 日(金) CONNEXIONS セレモニー・内覧会スケジュール

時間	内容	会場	参加対象
13:00－13:15	プレス受付	1F エントランス	プレスの皆様
13:15－14:00	学芸員による プレスツアー	3F 企画展示室	アーティスト プレスの皆様 ※この時間は三脚使用可
14:00－14:30	プレス向け撮影時間	3F 企画展示室	プレスの皆様 ※この時間は三脚使用可
14:30－15:00	開幕セレモニー	1F ひろま	展覧会関係者（アーティスト含む） プレスの皆様
15:00－17:00	内覧会	3F 企画展示室	内覧会招待者

内覧会参加アーティスト 6 組

Marianna Christofides (マリアンナ・クリストフィデス)
遠藤薫 (エンドウカオリ)
mamoru (マモル)
SIDE CORE (サイドコア)
刷音 (シュアイン)
高嶺格 (タカミネタダス)

本展企画担当 赤井あずみ (鳥取県立美術館 主任学芸員)

▽プレス内覧会のお申し込みは、こちらのフォームよりお願いいたします

<https://forms.gle/4pinTo3MGtasfVo19>

※お申込み〆切：2026 年 2 月 5 日(木) 17:00 まで

**Exhibition 展覧会概要**

展覧会名	CONNEXIONS コネクションズー接続するアーティストたち
会期	2026 年 2 月 7 日（土）～3 月 22 日（日）
会場	鳥取県立美術館 3F 企画展示室、1F ひろま
開館時間	9:00～17:00（入館は 16:30 まで）
休館日	月曜日（2/23 は開館）、2/24（火）
観覧料	一般：1200 円（950 円） 学生：750 円（600 円） 高校生：500 円（400 円） 小中学生：300 円（240 円） ＊（ ）内は前売料金・20 名以上の団体料金 ※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料 ※企画展のチケットでコレクション展もご覧いただけます。 ※前売券はオンラインチケットのみの販売です。 ※2026 年 2 月 6 日(金)までは前売料金、2 月 7 日(土)から会期中は通常料金です。
主催	CONNEXIONS 展実行委員会（鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、TPlat）
公式サイト	https://tottori-moa.jp/exhibition/view/exhibition-04-2/
展覧会チラシ	https://tottori-moa.jp/wp-content/uploads/2025/11/CONNEXIONS_Flyer_web_s.pdf
オンラインチケット	https://artsticker.app/events/98408

※スムーズにご入場いただけるよう、オンラインチケットを販売中です。

※会期中は美術館窓口でも当日券を販売いたします。

本件について、ご取材・ご紹介いただける場合は、下記担当までご連絡ください。

[問合せ]鳥取県立美術館パートナーズ 広報担当（山本・三浦・興治）

Email | info@tottori-moa.jp TEL | 0858-24-5442 WEB | <https://tottori-moa.jp>

2026.2.7^{SAT}—3.22^{SUN}

会場 | 鳥取県立美術館 3F企画展示室 開館時間 | 9:00—17:00(入館は16:30まで)
休館日 | 月曜日(2月23日は開館)、2月24日(火)

主催 | CONNEXIONS 展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、TPlat)

鳥取県立美術館

鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

Marianna Christofides

マリアンナ・クリストフィデス

遠藤 薫

Kaori Endo

Museo Aero Solar

ムセオ・アエロ・ソラーレ

mamoru

マモル

SIDE CORE

サイドコア

刷音

シュアイン / Printing Sound

高嶺 格

Tadasu Takamine

人をつなぐ 領域をつなぐ 世界をつなぐ
国内外の7組のアーティストたちによる挑戦

コネクションズ—接続するアーティストたち

CONNEXIONS: Artists as Bridges

CONNEXIONS



公式WEBサイト

CONNECTIONS

コネクションズ—接続するアーティストたち

CONNECTIONS: Artists as Bridges



関連イベント Event

- アーティストによるギャラリー・トーク
2月7日(土) 14:00-15:30
3F企画展示室、要観覧料
- 刷音ライブ&シルクスクリン印刷会「刷音 鳥取」
2月7日(土) 15:00-
ホール、スタジオ2・3ほか、入場無料
- mamoru「声を挙げ、絶やさない」
2月8日(日) ワークショップ 13:00-14:00
公開セッション 15:00-15:30
ひろまほか美術館内、参加・見学無料
- 学芸員によるギャラリー・トーク
2月14日(土)、2月28日(土)、3月7日(土)
各回とも14:00-15:00
3F企画展示室、要観覧料

材料収集にご協力ください

Museo Aero Solar「風と太陽の美術館」プロジェクトでは、使用済みのきれいなプラスチック袋(レジ袋など)を集めています。集まった袋をつなげて巨大なバルーン美術館を作ります。館内の収集BOXに袋をお持ちください。

収集期間:10月28日(火)～目標枚数達成まで(8000枚)

関連イベントおよび、Museo Aero Solar「風と太陽の美術館」プロジェクトについての詳細は、展覧会WEBサイトにてお知らせします

展覧会WEBサイト



鳥取県立美術館は、2025年3月に「未来をつくる美術館」として開館しました。新しい価値を育み、文化をともに育てていく場として、同時代の表現を紹介することにも力を注いでいます。その一環として開催する本展では、作品を通じて文化や社会の断絶を越え、異なる領域を架橋する国内外のアーティスト7組を招聘します。

パンデミックを経た今日、災害や戦争、グローバル経済の混乱によって、不安定さと脆さが一層際立つ世界に私たちは生きています。変化の渦に揺れる状況下で、アートはいかなるビジョンを示すことができるのでしょうか。本展は、「つながり」「関わり」を意味する「コネクションズ」をテーマに掲げ、アートと社会の未来の姿を描く企画として構想されました。音楽や演劇、パフォーマンスなど異なる領域を横断し、美術を「体験の場」へと広げる表現、そして多様な文化的背景をもつアーティストによる、世界を越境し共生の道を探る取り組みを紹介します。彼らの表現は、単なる物質的な作品を超えて、人々との体験や参加、身体を用いた実践や協働のプロセスなど多面的な行為性を含み、新たな関わりや出来事を生み出します。これらの活動は美術の領域を広げ、従来の枠を越えた表現の可能性を示すとともに、「コネクションズ」というタイトルが示す通り、異なる文化や社会的背景を横断し、新たな関係性を築くものです。

また、会期中には、パフォーマンスやワークショップ、来場者が参加できるプロジェクトも展開します。

本展を通じて、人々の創造性が引き出され、地域と美術館、そして未来をつなぐ可能性が拓かれることを期待しています。

The Tottori Prefectural Museum of Art opened in March 2025 with the vision of becoming "a museum that creates the future." As a place to nurture new values and cultivate culture together, the museum is also committed to presenting the art of our own time.

As part of this mission, this exhibition brings together seven artists and collectives from Japan and abroad whose works transcend cultural and social divides and build bridges across different fields. Today, in the aftermath of the pandemic, we live in a world where instability and fragility have become increasingly evident due to disasters, wars, and global economic turmoil. Amidst these turbulent changes, what kind of vision can art offer? Under the theme of "connections," meaning "connection" and "relationship," this exhibition is conceived as an attempt to imagine the future of art and society. It presents practices that expand art into an experiential space by incorporating elements of music, theatre, and performance, as well as initiatives by artists with diverse cultural backgrounds who seek pathways to coexistence across borders.

Their practices go beyond material objects to encompass multifaceted performativity—including encounters with people, participatory processes, bodily actions, and forms of collaboration—that generate new relationships and events. These activities broaden the scope of art and point to possibilities beyond conventional boundaries, and, as the title "connections" suggests, they cross different cultures and social contexts to create new relationships. Throughout the exhibition period, performances, workshops, and participatory projects will also be presented.

We hope this exhibition will inspire creativity among people and open possibilities for connecting the community, the museum, and the future.

観覧料 Admission Fee

一般:1200円(950円)、学生:750円(600円)、
高校生:500円(400円)、小中学生:300円(240円)

※()内は前売料金・20名以上の団体料金
※未就学児・障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料
※企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

交通アクセス Access

【鉄道・バスの場合】

JR倉吉駅よりバスで約10分、「県立美術館前」下車

【倉吉駅まで】

鳥取砂丘空港からバスで約45分

米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分

大阪駅からJR特急で約3時間

岡山駅からJR特急で約2時間40分

【車の場合】

岡山・広島方面 米子道 湯原ICから約50分

大阪方面 中国自動車道 院庄ICから約1時間

※駐車場あり(110台)



1. マリアンナ・クリストフィデス《Restor(y)ing Waters / Rivers, Banks》
展示風景、2024

Marianna Christofides, *Restor(y)ing Waters / Rivers, Banks*,
installation view, 2024. Photo Natalia Tsoukala | courtesy NEON
© Marianna Christofides | VG Bild-Kunst, Bonn 2024

2. 遠藤薫《重力と虹霓—南波照間島について》2023、

展示風景、大阪中之島美術館
Kaori Endo, *Gravity and rainbow / About the "Pai-Patiroma"*
phantom island, 2023. Installation view at Nakanoshima Museum
of Art, Osaka, Japan. Photo by the Artist

3. Mセオ・アエロ・ソラール《Mセオ・アエロ・ソラール—チェンライ》2023-2024

Museo Aero Solar, *Museo Aero Solar—Chiang Rai*, 2023-2024.
Courtesy Museo Aero Solar, in particular communities of the Chiang
Rai Biennale, Thailand. Photo Credit: Joaquín Ezcurra, Aerocene

4. mamoru《声を挙げ、絶やさない》2021-
Szczecin (ポーランド)でのグループワークの様子、2024年5月15日

mamoru, *NEVER BE NO VOICE*, 2021-ongoing, group work session,
May 5, 2024 at Szczecin (Poland). photo: Tien Zong Yuan

5. SIDE CORE / EVERYDAY HOLIDAY SQUAD《rode work ver. tokyo》
2018/2022 展示風景、森美術館 2022-2023

SIDE CORE / EVERYDAY HOLIDAY SQUAD, *rode work ver. tokyo*
2018/2022. Installation view at Mori Art Museum, 2022-2023
Photo: Kioku Keizo

6. 刷音《刷音》ワークショップ風景、2018年12月14日、

四方当代美術館、南京
SURE INN, *Printing Sound*, workshop view from Printing Sound,
December 14, 2018. Sifang Art Museum, Nanjing.

7. 高嶺格《いかに考えないか》2010、あいちトリエンナーレ2010、
セツ寺共同スタジオでのパフォーマンス

Tadasu Takamine, *How Not to Think?*, 2010. Nanatsudera Kyodo
Studio, AICHI TRIENNALE 2010.

※画像は実際の展示とは異なります

オンラインチケット Online Ticket

前売料金:2025年12月7日(日)~2026年2月6日(金)

通常料金:2026年2月7日(土)~2026年3月22日(日)

※窓口での当日券販売もございます。



ArtSticker



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12
TEL 0858-24-5442 (代表)
https://tottori-moa.jp

